

平成28年度事業報告

ここ数年、日本経済は弱さも見られますが、緩やかな景気回復基調が続き、雇用者数は増加してきています。シルバー事業においても、高齢者の多様な就業機会を提供する場として各方面から大きな期待が寄せられ、政府が掲げる「一億総活躍社会」の実現に向けた高齢者の就業支援策として、昨年4月には「臨時的かつ短期的」又は「輕易」な業務に限られていた就業規制が緩和され、シルバー派遣事業等における就業可能な就業拡大を図るための仕組みが整備されました。

また、同時にシルバー人材センターの働き方に適正就業の徹底が求められており、このため厚生労働省が作成したガイドライン「シルバー人材センターのご案内」を発注者と会員の皆様に配布し、請負・委任・派遣など就業形態ごとの適正な就業方法等について、理解を深めていただきました。

さて、平成28年度事業であります。昨年度作成した中長期計画を軸に、就業拡大・会員拡大に向け積極的に取り組んだところであります。特に、介護保険制度の改正により、市町村に移管され実施された介護予防・日常生活支援総合事業に新規に取り組み、女性会員の就業機会の拡大に努めました。

事業実績につきましては、不透明な経済情勢などを反映して、公共・民間とも受注はやや減少傾向にあるものの、適正就業の観点で従来の請負・委任事業から派遣事業へ契約の見直しを進めた結果、請負・委任事業の契約額が約3億2,951万円、派遣事業の契約額は約4,594万円で、全体では約3億7,545万円となり、前年度と比べ357万円、0.9%の減少となりましたが、概ね前年度並みの実績を確保することができました。

また、会員数につきましては、全体809人で前年度に比べ17人増加し、男性会員は8人の増加、女性会員も9人増加しました。

以下、平成28年度の事業実績と事業実施の概要を報告します。

1 事業運営体制の充実

- ① 国、県、市町の行政をはじめ、山梨県シルバー人材センター連合会・県内の各シルバー人材センター等関係団体と連携を密にし、事業運営体制の充実を図りました。
- ② 会員理事連絡会議を開催するとともに、総務部会、事業部会、地域部会が連携して積極的に事業を進めました。
- ③ センター施設整備について、県内のセンターの調査を行ったほか、利用可能な公共施設等があるかなどの情報収集、調査等を進めました。
- ④ 自主・自立の組織体制等についての研修を目的に、千葉県佐倉市シル

バー人材センターにて理事研修を行いました。また、職員は、山梨県シルバー人材センター連合会・三巨摩シルバー人材センター連絡会議等の研修に積極的に参加し、資質の向上を図りました。

- ⑤ 財政運営基盤確立のため、管理経費の削減に努めました。
- ⑥ 平成27年度に策定した中長期計画について、総務部会、事業部会、地域部会を中心に計画を推進しました。

2 就業機会の開拓・提供事業

- ① 植木作業は、年末に向けて植木受注が混み合うため、昨年度の実績に基づき顧客管理を行い、計画的に作業が行えるよう各班と連携を取りながら実施しました。
- ② 未就業会員には発注先にも理解を図り、出来る限り配置会員の公募を行い、就業機会を提供するよう努めました。
- ③ 職業紹介事業は、連合会の動向に合わせ実施しました。
- ④ 従前からの家事援助サービス事業や甲斐市から委託を受けた介護予防・日常生活支援総合事業に取り組み、女性の就業機会の拡大に努めました。
- ⑤ 派遣事業について請負事業からの切り替えを行い、就業機会の適正化と維持及び拡大を図りました。

3 技能を取得するための講習事業

- ① 中低木の剪定方法及び安全対策を学ぶための植木剪定「新人育成」講習会を開催し11人が受講しました。
- ② 平成29年度公共事業で就業を希望する会員に対し、甲斐市・中央市において就業説明会に合わせ接遇講習会を実施しました。
- ③ 家事援助サービス事業及び介護予防・日常生活支援総合事業に取り組むため、就業希望会員を対象に家事援助サービス事業基礎講習会を2回に分け実施し、また、実務に役立つ調理講習会及び情報交換会を2回に分け実施し、それぞれ会員36人、27人が参加しました。
- ④ 就業会員情報交換会については、介護予防・日常生活支援総合事業就業会員を対象に年に3回、家事援助サービス事業就業会員を対象に年に3回実施しました。また、女性部の連携強化ため、手芸講習会やみそ作り講習会を開催し、女性会員・一般合わせて、それぞれ46人、54人が参加しました。

4 普及啓発事業

- ① 管内3地区の行政のまつりに出店し地域住民にPRを行いました。
- ② 第8回目の開催となったコスモス花見会では、約500人の来場者に向けセンター事業のPRを行ったほか、イベントの売上金で交通安全旗

を管内小学校に寄贈しました。

- ③ センター広報「生きいき」を年2回発行し、会員と関係機関へ配布しました。
- ④ 構成市町の広報誌5月号、8月号、9月号、10月号、3月号にセンター事業のPRや入会説明会の紹介記事を掲載し、該当エリアの地域住民に周知しました。
- ⑤ センター独自のホームページや構成市町のホームページのバナー広告を活用し、ネット社会に対応したPR活動を進めました。
- ⑥ 街頭PR活動については、10月の全国シルバー普及月間に合わせ、管内大型スーパー10カ所の店頭において実施しました。
- ⑦ 会員と地域の交流や普及啓発を目的としたグラウンドゴルフ大会を開催し、会員98人と地域住民142人の参加がありました。

5 安全就業推進事業

- ① 安全就業推進のため、事務局職員も現場に出向き巡視を行いました。
- ② 安全委員会では、事故を起こした会員を委員会に出席を求め、事故状況の聞き取りと防止策の検討を行い、作業グループの安全指導と注意徹底を図って参りました。
- ③ 事故の多い草刈り及び植木剪定作業を中心に安全巡回を年7回実施し、安全指導及び飛散防止用具等の使用の徹底を図りました。
- ④ 車両管理要綱に基づき、車両管理の徹底とセンター所有車両貸出の適正化を図り事故防止に努めるとともに、安全運転講習会を実施し運転業務に従事する会員93人が受講しました。
- ⑤ グラウンドゴルフ大会開催の際には、併せてラジオ体操講習会を実施し、会員と地域住民で240人の参加がありました。
- ⑥ 草刈作業会員安全教育実施要領に基づき、基本教育と実技教育に分け実践的な講習会を開催し、53人が受講しました。

6 公平・適正就業の推進事業

- ① 就業の公平・適正化とワークシェアリング及びローテーション就業を推進しました。
- ② 就業会員配置基準に基づき、就業機会の公平・適正な就業機会の推進を図りました。
- ③ 地区担当理事と連携し、公平適正な就業の配置を推進しました。

7 相談・情報提供事業

- ① 地区担当理事・地域班長・連絡員・会員の連携を密にし、会員との情報連絡体制の充実を図りました。
- ② 定期開催の入会説明会を毎月第2、第4水曜日に行ったほか、10月

には玉穂総合会館、3月には田富総合会館で出張説明会を開催しました。その結果、134人の参加をいただき、うち118人の新規加入があり会員確保を図りました。

- ③ 家事援助サービス事業及び介護予防・日常生活支援総合事業に就業する女性会員の登録を増やすため、普及啓発活動の際に積極的な声掛け、また、女性対象の講習会を開催する等の取り組みを行いました。
- ④ 会員理事が中心となり、地区ごとに親睦会等を実施しました。
- ⑤ 会員が自覚と誇りをもって就業にあたれるよう、会員心得や緊急時の連絡先などの情報を名札にして、携帯の徹底を図りました。

8 社会参加活動事業

- ① ボランティア活動として、20周年記念事業で整備した花壇を各地区理事と地域班長を中心に地域会員で管理しました。